ＳＳＨ成果発表会　文系課題研究評価表［職員用］

領域	評価観点	評価尺度			1.普通科文系領域	3．普通科総合文科コース
		A	B	C		
研究内容	動機・目的	研究の動機・目的が明確に述べられており，その意義がよく分かる。	研究の動機・目的が述べられている。	目的・動機が分かりにくい。		
	方法	考察方法や考察の視点が目的に沿っており、その方法に創意工夫がみられる。	目的におおむね沿った考察方法や考察視点がみられる。	目的を達成する考察する方法として不十分な箇所がみられた。		
	分析と結果	信頼性の高い情報を目的に合わせて適切に使用し、豊富な資料やデータをもとに優れた分析がなされている。	目的に合った情報が使用されており、資料　データがおおむね適切に分析されている。	情報が目的にあっておらず、資料やデータが不足している。		
	考察	研究結果を踏まえた考察が述べられており、今後の研究の展望も示されている。	研究結果を踏まえた考察が述べられている。	考察が曖昧である。		
プレゼンテーション	発表構成	明快な論理に基づいて構成されており、聞き手が内容を的確に理解することができる。	分かりやすい構成でおおむね論理的に述べられており、聞き手が理解しやすい表現となっている。	内容構成が分かりにくく、内容をあまり理解できない部分があった。		
	発表資料（スライド）	文字や画像が適切な大きさで、色彩に統一感があり、PowerPointの機能を有効に活用して視覚的に分かりやすいスライドであった。	文字や画像が適切な大きさで、視覚的に分かりやすいスライドであった。	文字や図が見えにくいスライドがいくつかあった。		
	話し方	自分の言葉で研究内容を説明し、抑揚や話す速度は適切であり、聞き取りやすい。	抑揚や話す速度については、おおむね適切である。	抑揚、話す速度が適切でなく、聞き取りにくい箇所があった。		